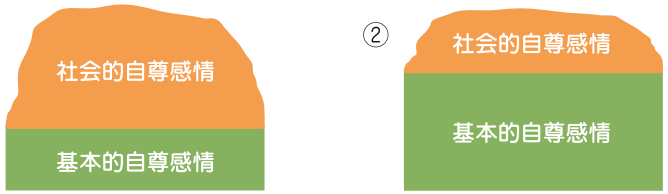
子どもは失敗から多くの事を学びます。 行動の結果だけに目を向けず、 そこに至るまでのありのままの努力をする姿を認めてあげましょう。

そして「本当によく頑張ったね」の一言をかけてあげることが子どもの自尊感情を育む上でとても大切なことなのです。

ほめ方のポイント： 「より良く」ではなく「ありのまま」を認める
「失敗」と書いて「けいけん」と読む気持ちで



①小さな「基本的自尊感情」と大きな「社会的自尊感情」
②大きな「基本的自尊感情」と小さな「社会的自尊感情」

①と②では挫折した時、 どちらが再び立ち上がる力が大きいと思いますか?
答えは②です。

社会的自尊感情は熱気球のようなもので、 ほめられたり認められたり評価されたりすると、 それが熱風となり熱気球に送られ大きく膨らみます。

しかし、 頑張り過ぎて熱風を吹き込み過ぎると破裂してしまうかも知れないし、 挫折を経験し吹き込む熱風がストップすれば、 一気に空気が抜けてしぼんでしまうかも知れません。

だからこそ、 土台となる基本的自尊感情をしっかり育むことが大切なのです。

発行にあたって

この冊子は市民のみなさんに人権について正しく理解していただくために作成しました。
家庭や地域・職場などの話し合いや人権学習の資料として、ご活用願えれば幸いです。

著者紹介

加島　ゆう子　（かしま　ゆうこ）
兵庫県立教育研修所 不登校対策推進研修員
NPO法人　こころ・からだ研究所　顧問

《　子育てや人権についての相談窓口　》

○4歳から18歳までの子どもに関する相談　不登校、友達関係、学習や進路など
　尼崎市教育委員会事務局　教育総合センター「教育相談担当」　6423-2550（面接相談受付）　6429-7564（電話相談）
○子育ての悩み　尼崎市立すこやかプラザ　6418-3463
○子どもの人権について　子どもの人権110番　0120-007-110
○自主グループの人権学習講師派遣について　尼崎市教育委員会事務局社会教育課　6489−6746

発行●尼崎市教育委員会事務局社会教育課　TEL06−6489−6746
社会教育課では、幼稚園、小・中学校の保護者を中心とした自主学習グループによる定期的な人権学習を広げる活動を続けています。
また、市内の自主学習グループから希望があれば、社会教育課に登録している人権教育指導者の派遣も行っています。

発行日●平成25年12月　デザイン・イラスト●（有）芦屋DESIGN・企画　印刷●株式会社プリンティング園田

尼崎市教育委員会

あなたは、あなたが好きですか?

― 子どもの自尊感情を育もう ―

「あなたは、あなたが好きですか?」そう尋ねられたらどう答えますか?

この「私は私が好き」「私には価値がある」と自分自身を認める気持ちのことを“自尊感情”と言います。

近年、その自尊感情が子どもたちの中でうまく育まれず“自分だけが大切”という自己中心的な子どもたちが増加し、それが“いじめ”の要因の一つにもなっていると考えられています。自尊感情が適切に育まれている人は、何事にも前向きで柔軟な考えを持ち、思いやりの心が育くまれ、学力や才能が豊かに伸び、穏やかな生活を送ることができます。

逆に自尊感情が育まれていないと、考え方が否定的で消極的になり、時にはそれが差別意識や偏見に結びついたり、自他否定感※が強くなったりすることがあるのです。

自尊感情はその人の人生そのものに大きく影響を及ぼします。

今回は子どもの自尊感情を育む3つのポイントについてお話したいと思います。

※自他否定感…自分自身を認められず、他者をも認めることのできない気持ち。
「私はダメな人間。そしてあなたもダメな人間」だと思う、自分にも他人にも攻撃的な気持ちのこと。

回覧										